

第3学年 国語科学習指導案

令和元年11月13日（水） 第5校時
四万十市立大川筋中学校 3年生 生徒数5名
場所 3年教室
指導者 谷崎 美佳

四万十市教育研究会 サークルⅠ（教科・部会）国語（中）

研究主題：言葉を大切にし、豊かな読みと表現の力を育てる

学習指導要領

「C 読むこと」〈作られた「物語」を超えて〉

第3学年 イ 文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。

ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。

「B 書くこと」〈説得力のある文章を書こう〉

第3学年 イ 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くこと。

「言語活動」

単元を通して

論理の展開や表現の仕方を工夫し、説得力のある文章（批評文）を書く。

作られた「物語」を超えて

「作られた『物語』を超えて」という論説は説得力のある文章なのかを観点を立てて分析し、簡単な批評文を書く。

1 単元名 6 論旨を捉えて

教材名 作られた「物語」を超えて（光村図書「国語3」158ページ）

2 単元について

○単元観（教材観）

本教材は、「単元6 論理を捉えて」の中に位置づけられており、論理の展開を捉えるのに適した教材である。本教材は山際寿一氏によって書かれた論説文で、ゴリラに降りかかった悲劇の「物語」を通し、人間の性質について論じている。この論説には「『物語』を鵜呑みにせず、自分を相手の立場に置き換えて考えてみる視点が大切である」という主張が書かれているが、主張を導き出すための論理展開に着目す

ることにより深く筆者の意図を読み取ることが可能である。

単元構想を練るにあたり、教科書の掲載順から離れ（社説—論説文—批評文）の順に学習することを通し、論理の展開を読み取ることや観点を立てて評価することに取り組ませたい。

説明的な文章の解釈に関する学習は、1年生で「中心的な部分と付加的な部分、事実と意見の読み分けること」、2年生で「全体と部分の関係に着目すること」などの段階を経て、3年生の「論理の展開を捉える」ことへと繋がる。本単元で扱う教材は、これまでに身に着けた力を使い、文章と向き合うことに適した教材と言える。

○生徒観

本校は1年生が不在、2年生2名、3年生5名の全校7名の極小規模校である。人数が少ないながらも活発な生徒が多く、元気に学校生活を送っている。保育園・小学校・中学校とほぼ同じメンバーとの関わりの中で成長してきたこともあり、仲良く過ごせる反面、人間関係に悩んでいる生徒も多い。

本校では学期に2回程度チーム会での現状分析を行っている。分析では、毎回、以下のような強みと弱みが挙げられる。

本校3年生の強み

- 思考力が高く、自分の考えを持っている。
- 記述式の課題に取り組める。文章を書く力がある。

本校3年生の弱み

- ▲規律面が弱く、諦めやすい。
- ▲基礎の定着に課題がある。

全国学力・学習状況調査の結果では、「書くこと」の正答率100%であったことから、書く力は一定育ってきているのではないかと考える。しかし、自校採点の段階では正答と見なさなかった問題も多かったことや、「文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える」という問題に課題が見られた（正答率%、全国一 . p）ことから、根拠として挙げる事柄の確かさを精査する力や、より相手を納得させる論の展開を組み立てる力、展開に着目して読み取る力を伸ばしていく必要があると考える。本単元の学習を通して、論理の展開を捉える力を育てたい。

○指導観

本単元を学習するにあたり生徒に付けさせたい力は三つある。一つ目は「論理の展開を捉えて内容の理解に役立てる力（読む能力）」、二つ目は「文章の構成や展開、表現の仕方について、観点を立てて評価する力（読む能力）」、三つめは「論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書く力（書く能力）」である。本単元は複合単元となっており、「読む能力」、「書く能力」の2つを取り上げるが、付けさせたい能力には「論理の展開」という共通点を持たせ、読み取ったものを表現する活動を中心としたい。

本単元は、3つの教科書教材（「新聞の社説を比較して読もう」「作られた『物語』を超えて」「説得力のある文章を書こう」）を組み替えて構成した。

単元全体の学習の流れは、単元のスタートに「よりよい批評とは、どんな批評なのか？」の問いを投げかけ、「仲間をうならせる批評文を書く」という言語活動を通して自分なりの答えを探していくというも

のになっている。具体的には、「新聞の社説を比較して読もう」の学習を通して筆者の主張を捉えることとゴールをイメージしながら記事を選ぶこと、「作られた『物語』を超えて」の学習を通して論理の展開から筆者の意図を読むことと文章を評価すること、「説得力のある文章を書こう」の学習を通して論理の展開を工夫しながら文章を書くことと互いに評価し合うことを指導したい。

本時の学習では、「作られた『物語』を超えて」前半のゴリラに関する叙述の部分に着目し、生徒の「なぜ」を引き出した上で本文に返って論理の展開を読み取らせることで筆者の意図に迫りたい。

相手・目的	付けたい力	言語活動
相手：同じクラスの仲間 目的：学習を通して「よりよい批評文とは」に対する自分の答えを見つけるため	読む能力 論理の展開を捉える 評価する 書く能力 論理の展開を工夫して書く	仲間がうなるような批評文を書く（新聞記事の批評）

3 研究主題との関連

四万十市教育研究会中学国語部会では「言葉を大切にし、豊かな読みと表現の力を育てる」ことを主題とし、研究を進めている。

本単元の内容を考えるきっかけとなったのは、全国学力・学習調査等の結果分析の際に「説明文の読解」が課題として挙げられやすい傾向にあると感じたことである。中でも「問題で問われていることや意図を読むこと」の課題については、校内の分析でも部会の分析でも挙げられていたことから、自校だけの課題ではなく、四万十市全体と課題なのかもしれないと思い、研究授業は説明的な文章で行いたいと考えた。

論説文には筆者の主張が書かれており、主張を導き出すために様々な工夫がなされている。言葉や展開に着目して読み取らせることで読む力を鍛えるとともに、単元のゴールに批評文を位置づけることで、表現する力へと繋げたい。

4 単元の目標

- ・「仲間がうなるような批評文を書こう」という単元ゴールに向け、新聞記事・論説文などを読むことを通し、論理の展開から書き手の主張や意図を読み取り、観点を立てて評価することができる。【読む能力】
- ・「仲間がうなる批評文を書こう」という単元ゴールに向け、身の回りの関心のある出来事から新聞記事を選択し、論理の展開を工夫した批評文を書くことができる。【書く能力】

5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○表現にこだわって読み取ったり、表現したりしようとしている。 ○身の回りの出来事に関心を持ち、進んで調べたり、他の情報を比較したりしようとしている。	◎文章の論理の展開の仕方とらえ、内容の理解に役立てている。 【C 読むこと イ(文章の解釈)】	○学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れること。 【伝国 ウ(漢字に関する事項)イ】
	○文章の構成や展開、表現の仕方について、観点を立てて評価している。 【C 読むこと ウ(自分の考えの形成)】	
	書く能力 ○論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書いている。 【B 書くこと イ(記述)】	

6 指導と評価の計画 (全9時間)

次	時	○指導のねらい(目標) ・学習内容、学習活動	評価					
			関	読	書	言	評価規準	評価方法
1次	1	○単元の見通しを持つことができる。 ・「仲間がうなるような批評文を書く」という単元ゴールを知り、イメージを持つ。 ・2つの新聞記事を比較し、書き手の主張を捉える。		◎			・文章の論理の展開の仕方とらえ、内容の理解に役立てている。	観察ノート
	2	○身の回りの出来事から関心のある記事を選ぶことができる。 ・最近の新聞記事の中から関心のある記事を選択する。 ・前時の学習を生かし、記事の論理の展開を捉え、文章構成図を作る。	○	◎			・身の回りの出来事に関心を持ち、進んで調べたり、他の情報を比較したりしようとしている。 ・文章の論理の展開の仕方とらえ、内容の理解に役立てている。	観察スクラップ
2次	3	○「作られた『物語』を超えて」の全体像を捉えることができる。 ・言葉に着目し、文章の全体像と筆者の主張を捉える。 ・段落ごとの要旨を捉える。		◎			・文章の論理の展開の仕方とらえ、内容の理解に役立てている。	観察発表
	4 本時	○構成・内容に着目し、筆者の意図を考えることができる。 ・「ゴリラの物語」の部分に着目し、筆者の意図を捉える。 ・問いを立て、本文を根拠に答えを考えることを通し、筆者の意図に迫る。	○	◎			・表現にこだわって読み取ったり、表現したりしようとしている。 ・文章の論理の展開の仕方とらえ、内容の理解に役立てている。	観察ノート発表

3次	5	<p>○観点を立てて「作られた『物語』を超えて」を評価することができる。</p> <p>・説明の仕方・主観・資料などの観点に基づいて「作られた『物語』を超えて」を評価する。</p> <p>・評価の内容を文章にまとめる。</p>	○	○	<p>・文章の構成や展開，表現の仕方について、観点を立てて評価している。</p> <p>・学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れること。</p>	ノート 批評文	
4次	6	<p>○選んだ記事を、観点を立てて分析することができる。</p> <p>・これまでの学習を生かし、1次で選んだ新聞記事を分析する。</p> <p>・記事の内容を、観点を立てて評価する。</p>	○	○	<p>・身の回りの出来事に関心を持ち、進んで調べたり、他の情報を比較したりしようとしている。</p> <p>・文章の構成や展開，表現の仕方について、観点を立てて評価している。</p>	観察 スクラップ	
	7	<p>○批評の根拠を支える資料を整えることができる。</p> <p>・前時の分析を支える根拠を集める。</p> <p>・他の新聞記事や書籍、インターネットなどを活用し、比較して考える。</p>	○	○	<p>・身の回りの出来事に関心を持ち、進んで調べたり、他の情報を比較したりしようとしている。</p> <p>・文章の構成や展開，表現の仕方について、観点を立てて評価している。</p>	観察 スクラップ	
	8	<p>○論理の展開を工夫し、批評文を書くことができる。</p> <p>・これまでの学習を生かし、論理の展開を工夫して批評文を書く。</p> <p>・「仲間がうなる批評文を書こう」という単元ゴールを意識し、どのような工夫をすればよい批評文になるのかを考えながら書く。</p>	○	○	○	<p>・表現にこだわって読み取ったり、表現したりしようとしている。</p> <p>・論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書いている。</p> <p>・学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れること。</p>	批評文
	9	<p>○批評文の交流を通して気づいたことを文章にまとめることができる。</p> <p>・批評文を互に読み合い、思わずうなった工夫点について評価し合う。</p> <p>・交流を通して自分の考えを広げ、「よりよい批評文とは」を自分の言葉でまとめる。</p>	○	○	<p>・表現にこだわって読み取ったり、表現したりしようとしている。</p> <p>・文章の構成や展開，表現の仕方について、観点を立てて評価している。</p>	観察 発表 ノート	

7 本時の学習

(1) 本時の目標

「ゴリラの物語」の部分の構成・内容に着目し、分析的に読むことで筆者の意図を考えることができる。

(2) 本時の評価規準

- ・表現にこだわって読み取ったり、表現したりしようとしている。
- ・文章の論理の展開の仕方をとらえ、内容の理解に役立てている。

(3) 準備物

前時の学習の成果物（全文シート）、単元ゴール貼物、ホワイトボード、ワークシート

(4) 本時の展開

	自校の取り組みとの関連	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
導入 5分		1、前時の振り返りをし、本時のめあてを確認する。5分	・前回の学習の成果物を掲示し、要点を押さえる。	
めあて 「ゴリラの物語」部分の展開には、 筆者のどんな意図が隠されているだろう？				
展開 35分	思考を深める	2、課題に取り組む。 課題 筆者はなぜ…？各段落の構成・内容に着目して考えてみよう。 ①問いを確認しよう。2分	呼びかけ「活動を通し、筆者の意図に迫っていきましょう」★予めまとめの初めと終わりを示しておく。 ・前時に立てた問い（「なぜだろう？」と思うこと）を確認し、3つの問いに絞って考えることを伝える。	表現にこだわって読み取ったり、表現したりしようとしている。（観察・ノート）
	根拠を示して	②本文を根拠に、自分の答えを持つ。8分	問い ○なぜ、ゴリラなのか？ ○なぜ、文章の半分をゴリラに使ったのか？ ○なぜ、ドラミングのことを取り上げているのか？	
	対話的な学習	③考えを共有しよう。15分	ワークシートの配布 ・想像ではなく、本文を根拠に考えるよう指示し、ワークシートに自分の考えを書かせる。 ・本文の一枚プリントを使い、全体像が見えるようにする。 ・考えを発表し合い、それぞれの問いに対しての皆の答えをホワイトボードにまとめる。 ・対話が深まるよう、支援する。	文章の論理の展開の仕方をとらえ、内容の理解に役立てている。（ノート・発表）
	思考を深める	3、本時のまとめをする。（筆者の意図は…？）10分	・生徒の言葉を使ってまとめる。 ・補足を加える。	
まとめ（例）「ゴリラの物語」部分には、筆者の研究を生かしている、ゴリラを人間のように描写しているなどの特徴がある。これには、ゴリラの「悲劇」を際立てることで、人間や「物語」の残酷性を浮き彫りにしたいという作者の意図が隠されている。				
終末 5分		4、振り返りを書く。5分	【視点】「仲間がうなる批評文を書く」ことに生かせそうなこと。	

○板書計画

<p>まとめ(例)「ゴリラの物語」部分には、筆者の研究を生かしている、「ゴリラを人間のように描写しているなどの特徴がある。」これには、「ゴリラの「悲劇」を際立てる」ことで、人間や「物語」の残酷性を浮き彫りにしたいという作者の意図が隠されている。</p>	<p>なぜ、ドラミングのことを取り上げているのか？内容</p>	<p>なぜ、ゴリラなのか？内容</p>	<p>なぜ、文章の半分をゴリラに使ったのか？構成</p>	<p>作られた「物語」を超えて めあて 「ゴリラの物語」部分の展開には、筆者のどんな意図が隠されているだろう？</p>
	<p>ホワイトボード ・ドラミングに対する誤解がゴリラの悲劇につながるから。 ・ドラミングの意味が真分分からないから誤気から。</p>	<p>ホワイトボード ・筆者がゴリラを研究しているから。 ・ゴリラの悲惨な運命が人間関係とつながる。(主張)</p>	<p>ホワイトボード ・ゴリラと人間を重ねるように書くことでゴリラの悲惨な運命を強調しているの、ゴリラの様子を詳しく書いたほうが効果的。</p>	<p>課題 筆者はなぜ……？ 各段落の構成・内容に着目して考えてみよう。</p>

振「仲間がうなる批評文を書く」ことに生かせそうなこと。

ホワイトボード

本文の拡大資料

<p>ゴール 仲間がうなるような批評文を書こう</p>	<p>既習事項のキーワード</p>	<p>既習事項のキーワード</p>	<p>1、めあて 2、問い・答え・共有 3、まとめ 4、振り返り</p>
---------------------------------	-------------------	-------------------	--